

特講・社会福祉学 7 (精神保健福祉士国家試験対策講座B)			単位数	履修方法	配当学年
			1単位	S	4年
科目コード	DT5207	担当教員	阿部 正孝／山本 操里 ほか		

■科目の内容

平成24年度から精神保健福祉士養成カリキュラムが改正され国家試験の受験科目も変更されました。本スクーリングは精神保健福祉士国家試験指定科目のうち専門科目について新カリキュラムに対応した内容となっています。

実力テストならびに新カリキュラムに対応した専門科目の出題傾向・学習のポイントについて解説しながら、確実に合格するための基礎学力の修得を目指します。

試験3カ月前の準備状態の点検の機会として、共に合格を目指す学習仲間を作る場としても是非ご活用ください。

■本講義の受講方法

この科目の履修方法は「S」(スクーリング受講のみで単位修得)で変更ありません。6月20日までの履修登録=10月3・4日に開講されるスクーリングの受講申込みとなります。「特講・社会福祉学6(精神保健福祉士国家試験対策講座A)」とあわせて受講されることを推奨します。

■到達目標

普段の学習の成果および弱点箇所を確認し、精神保健福祉士国家試験に合格できる。

■スクーリング講義内容

回数	テーマ	内容
1	実力テスト	現時点での受験勉強の進捗状況を把握するためのテストを実施する。
2	「精神疾患とその治療」	重要事項について解説する。
3	「精神保健の課題と支援」	重要事項について解説する。
4	「精神保健福祉相談援助の基盤(基礎)(専門)」	重要事項について解説する。
5	「精神保健福祉の理論と相談援助の展開」	重要事項について解説する。
6	「精神保健福祉に関する制度とサービス」	重要事項について解説する。
7	「精神障害者の生活支援システム」	重要事項について解説する。
8	まとめ	試験本番に向けての学習方法について解説する。

■在宅学習 8 のポイント

回数	テーマ	内容
1	精神疾患とその治療	「精神医学」の教科書および市販の参考書・過去問題集・模擬問題集等の内容から頻出事項を把握する。
2	精神保健の課題と支援	「精神保健学」の教科書および市販の参考書・過去問題集・模擬問題集等の内容から頻出事項を把握する。
3	精神保健福祉相談援助の基盤	「精神保健福祉援助技術総論Ⅰ」「精神保健福祉援助技術総論Ⅱ」の教科書および市販の参考書・過去問題集・模擬問題集等の内容から頻出事項を把握する。
4	精神保健福祉の理論と相談援助の展開①	「精神保健福祉の理論」を扱う教科書の部分および市販の参考書・過去問題集・模擬問題集等の内容から頻出事項を把握する。
5	精神保健福祉の理論と相談援助の展開②	「精神科リハビリテーション学」を扱う教科書の部分および市販の参考書・過去問題集・模擬問題集等の内容から頻出事項を把握する。
6	精神保健福祉の理論と相談援助の展開③	「精神保健福祉援助技術各論」を扱う教科書の部分および市販の参考書・過去問題集・模擬問題集等の内容から頻出事項を把握する。
7	精神保健福祉に関する制度とサービス	「精神保健福祉のサービス」「精神保健福祉の制度」の教科書および市販の参考書・過去問題集・模擬問題集等の内容から頻出事項を把握する。
8	精神障害者の生活支援システム	「精神障害者の生活支援システム」の教科書および市販の参考書・過去問題集・模擬問題集等の内容から頻出事項を把握する。

■評価の基準

授業への参加状況（20%）＋スクーリング試験（実力テスト）の結果（80%）から総合的に評価します。

■スクーリング時の教科書

特に教科書は使用しません。

■スクーリング事前学習

各専門科目について、市販の参考書等から基礎的内容を押さえてからスクーリングに臨むこと。

■スクーリング事後学習

「全国模擬試験」や『過去問題集』『模擬問題集』等を活用しながら、科目ごとの苦手箇所、頻出分野をそれぞれ把握し、補強や得点源を確保できるよう市販の参考書等から重点的に学習する。配付された資料やノートからスクーリングの講義内容について復習する。